



こんにちは！ 日本共産党の
大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2008年11月7日 108
〒319-1112
東海村村松2401-2
oona_toukai@yahoo.co.jp
電話・ファックス 029-284-0761

全国学力テストの市町村別結果について
公表しないことを求める申し入れ

村教育委員会委員長、教育長へ申し入れ

越塚ゆかり村教育委員長

「平均点の公表は意味がない...」「県学力テストと時期がかぶさり、結果の傾向が同様なら、全国学力テストには参加しないということも一考の余地がある...」

党村議団は、11月5日、村教育委員長、教育長宛に標記の申し入れを行いました。申し入れは、和田芳武県教育委員長が異例の市町村教育委員長宛に送った「テスト結果を教育現場だけでなく保護者や地域と共有することは、学力向上の課題を明らかにし、学校、家庭、地域が連携して子どもたちの健全育成に資するため、結果の公表による活用が望ましい」「前向きに検討するように」との依頼文への、村教委としての対応について、「結果の公表を行わないように」と求めたものです。



(申し入れ文より抜粋)

.....
そもそも全国学力テストの公式の目的は、全国的な学力の調査というのですが、それなら数%の抽出調査で十分です。生徒個人の学習への指導も目的とされていますが、数カ月あとに返されるようなテストでは役にたちません。

このように、全国学力テストは公式にかかげた目的のためには必要がなく、かつ、「こうなってはまずい」とした競争や公表だけがどんどん進んでいるのが現状です。こうしたことに毎年数十億円使うお金があるなら、教員数をふやすなど、子どもたちを少しでもていねいに教えられるようにすべきです。

今、結果の公表を求めているのは財界です。日本経団連は「結果を学校ごとに速やかに公表すること」を「重点的に講じるべき方策」の一つに掲げています。教育を点数至上の競争原理で染め上げて、安上がりに、従順な労働者をつくる教育にしようというのがその狙いです。

村教育委員会におかれましては、こうした財界の要求に屈することなく、真に教育のめざすところ、心身ともにすこやかに、人間性豊かな子どもたちの成長のために、より一層力を注がれるよう望みます。

未来を担う子どもたちの前におとな社会が点数競争の道を敷きつめていいのか、考え直す時にきています。

**三菱原燃火災事故
回答書が届きました**

10月3日に発生した三菱原燃の燃料棒溶接室被覆管切断装置での火災についての党村議団質問書への回答が届きました。一部ですがご報告いたします。

回答により、教育も訓練も現実に対応できていないこと、切粉等の回収水槽内の空け替えのためのマニュアルが無いこと、村の消防署との電話専用回線が作業現場に無いことなどが明らかになりました。

三菱原燃発表 成型工場燃料棒溶接室において、燃料棒に組み立てる前の被覆管の管端を切断する作業中に、被覆管の切粉に着火して火災が発生しました。切粉の火は直ちに消火器により消火され、周囲への延焼、作業者の怪我等はありませんでした。

消防への通報が約30分遅れたが、教育と火災訓練はどうなっていたのか。

答：社規定の教育を行い、発見者2名とも作業資格認定を受けている。防火管理・火災対応も教育を実施済。社要領により、火災発見者は119番通報後、社内非常連絡2222番に連絡。

被覆管切断時に生じる切粉及び管端片を回収する水を張った水槽の内容物交換の頻度はどのようか。

答：定量的な基準は設けておらず、作業者が切粉及び管端片の量を確認・判断し空け替えていた。

公設消防通報専用電話は、現場に設置されていないのか。

答：公設消防との専用回線は警備所のみですが、当該現場の電話からも119番通報は可能。